



山菜採りの遭難防止



例年、4月から6月にかけて県内では山菜採り目的で入山し、道迷いや急斜面での滑落により、死傷する遭難が多発しています。

山菜採りは、探すことに夢中になるあまり、迷ったり、知らず知らずのうちに危険な場所に立ち入ってしまうことがあるため、多くのリスクをもたらします。万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食・飲料などを必ず携行してください。

山菜採りで入山する際も、「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

① 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。

家族等身近な人に入山場所を伝えてから出掛けましょう。



② 携帯電話を持って行きましょう。

携帯電話は、万が一の際の重要な通信手段となります。

自宅や車内に置いて行かず、携帯して入山しましょう。

③ 急斜面での滑落に注意しましょう。

急斜面は滑りやすく非常に危険です。

足下に十分注意するとともに、危険のある場所への入山は避けましょう。



④ 単独での入山は避けましょう。

万が一遭難した場合に、ケガなどで動けない場合に助けを求めることができなくなってしまうます。

また、複数で入山しても単独行動したために遭難したというケースも見受けられますので、同行者とは声や目が届く範囲で行動しましょう。



⑤ 熊など野生動物に注意しましょう。

山中で熊やイノシシに遭遇し、襲われることもあります。

鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。



人が管理している敷地内に山菜を採りに入って来る人がいるという相談も寄せられますので、採取して良い場所かどうか今一度確認の上、土地所有者から許可を得るなどして山菜採りを楽しむようお願いします。

また、土地の所有者の方などは、他人が入り込まないよう、看板を立てる等の対策をお願いします。